

TENRYU 組合



台風 18 号のキズ跡 (50 年前の伊勢湾台風と同じコース?)

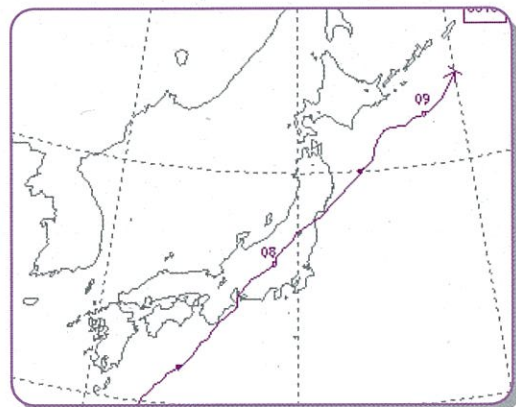
去る 10 月 8 日、愛知県知多半島に上陸、本州中央を北東に縦断して被害を出した台風は、我々浜松市（旧天竜市）でも公道（国道・市道）の寸断や中電線・NTT 線の倒木による切断等、長い地域で 3 日間の停電と想像以上の混乱であった。

我々組合でも区役所（まちづくり課）、地元建設業社から依頼を受け、5 日間対応にまわった。現場にかけつけてみると（写真①）、足が震える程すさまじい風景に、風の恐ろしさと、大事な山林がグニャグニャにされた悔しさと・・・。

また、浜松市中区では、住宅の屋根に重く突き刺さっている倒木（写真②）、もう少しで生命まで奪うところであった。倒壊しないでよかったと安堵した。（ホッ。）

復旧が進み、市道・林道を走らせてみると、更にビックリ！！（写真③）

森林がなぎ倒されているではないか！特に、熊・上阿多古地方は軒並み被害を受けている（沢沿・くぼ沿の低いところが多い）。中にはいまだに作業道に倒木のある箇所もある。





ニュース

第89号

平成21年11月16日

〒431-3306 浜松市天竜区船明1951-1
(天竜林業会館内)

天竜森林組合

TEL (053) 926-2800 (代)

FAX (053) 926-1000

E-mail: tenmori@orion.ocn.ne.jp



ここでお願いします。

- ① 台風被害を受けた森林所有者の方で、復旧を望まれている方は、当組合までお電話下さい。
(☎053-926-2802) 見積等ご相談させていただきます。
- ② 当組合では、全てを把握できておりませんので、森林所有者のみなさん、また、地域のみなさんの情報があればご連絡下さい。
- ③ この5年間(H16年～H20年)に、間伐補助事業を受けて、間伐された森林所有者の方は、森林国営保険に自動的に加入していますので、下記へご記入の上、当組合までご提出下さい。

担当 森林整備課

TEL053-926-2802

キリトリ

1. 住 所

2. 氏 名

⑩

3. 被 害 場 所

4. 被 害 内 容

約 ha 、約 本

5. 間伐補助施工時期

平成 年度

※ 複数個所の事業を受けている方は、お電話を下さい。

6. そ の 他

木材相場

平成18年度の住宅着工数129万戸に対し、今年度の着工数は70万戸と想定され（54％）供給側も当然抑えないとバランスが合わないことになる。現在日本は、物や住宅など量的には充足しているようである。

今後、需要奮起させるには、長期優良住宅、太陽光や燃料電池の新エネルギーに変える、省エネ住宅などの需要拡大に頼らざるを得ない。これは、温室効果ガス90年比25％削減にも大いに役立つ。

今、浜松市が取得を目指しているFSC認証も森林環境を守る取り組みの一環である。全国展開するコンビニ大手のミニストップ(株)も国内初FSC認証100％国産材の国産木造店舗1号店を出店する。環境貢献企業として、パイオニア的存在である。

自然環境の保護は、今や地球全体が直面している問題。平成22年にCOP10（生物多様性条約第10回締約国会議）が名古屋で開催される。京都議定書と同様に重要な会議でもある。

人の手が入らない自然ではなく、人々の暮らしとバランス良く適度に人の手が入る森林（間伐整備等）として環境は保たれることを認識する今が大切では？！

森林整備課

WOOD CRAFT

森林組合では天竜の森で育まれたヒノキを使って小物木工品作りをしています。今年も、来年の干支「寅」を販売する時期となりました。是非お買い上げくださいますようお願い致します。

お問合せ先 天竜森林組合
(TEL 053-926-2800)

販売期間 11月末日
(在庫完売をもって終了とさせていただきます)

販売価格 **1,300** 円(税込) 送料別途



新しい林業担い手の紹介

浜松市の緊急雇用対策事業において、90日間（5/25～9/30）林地残材処理を頑張ってきた6人の中から2人（外国人）を再雇用することになりました。我々と同じオレンジ色ユニフォームを着て、毎日山へ、丘へ、川へ、チェーンソー・刈払機を持って奮闘しています。緑が好きで勤勉なインターナショナルな人達が、高齢化・少子化時代をのりきる救世主になるのかも！？

● 新しく加入した

松田 セルジオ セイチさん

遠藤 カルロス カオルさん



新入職員紹介



星野 恵太

私が林業に就職しようとした理由は、中学の時に授業中、ふと外を見たら遠くの方で木を伐り倒しているのが見えて「イイなあ」と思ったからです。

きっかけはそれだけだったのですが、不思議と興味がわいて、それから色々と林業について調べました。その過程の中で林業高校を見つけ、入学をしました。林業高校で刃の研ぎ方、草刈りやチェーンソーの仕組み・使い方の実習、林業機械の名称や扱いなどの専門的な知識を得ていくうちに益々林業への興味・関心は増していきました。分からない事が多くて苦労も多かったけれど、まわりの友達と一緒に学んでいく時間はとても貴重で、楽しい時期でした。

そして、森林組合の存在を知り、目指しました。就業体験をやらせて頂けることになって受けてみて思ったことはとにかく「凄い」という事でした。

自分にもやれるかなという気持ちと中学の頃からの夢を叶えるため、林業という職業に就きました。就いて半年まだまだ経験が浅く失敗も多く不安を抱えながらですが、優しい先輩方に支えられながら、充実した日々を送っています。



小島 瑤介

私が林業に興味を持ち始めたのは高校生の時です。実習や授業を受けているうちに段々関心を持っていくようになっていき、森林組合で職場体験をやらせていただき就職志望することを決めました。

高校で教わってきたことを忘れないように、さらに技術の腕を磨いて、早く一人前になれるようになりたいです。でも、森林組合に入ってから少し経った大事な時に大きな怪我をしてしまい多くの人にご迷惑をかけてしまいました。その時の反省をいかし、これからはもっと周囲のことにも気を使い、機械や道具の取扱いには細心の注意をはらい頑張っていきたいです。



岡崎 圭佑

私は、学生の時から子ども達とキャンプや自然遊びをしてきました。

その時に木の素晴らしさを感じると同時に、この木の存在を多くの人々へ伝えたいと思いました。今はまだ林業に関して1からのスタートで色々とお憶えることがあり、大変ですが、少しでも早く一人前になれるように頑張りたいと思います。

今、主にやっていることは、山村境界保全事業という、山の境を明確化している仕事をしているので、山で会ったら是非話しかけてください。